

2016年度

クリスマス

こどもニュース



No. 15

2016.12.15 発行

金城学院幼稚園



クリスマスおめでとうございます。本日の讚美礼拝や土曜日の親子礼拝をご一緒にお祝い出来ることを嬉しく思い、心から感謝申し上げます。

アドベントⅢまでの礼拝、父母の讚美歌練習に沢山の方がご参加くださりありがとうございました。

間もなく2016年を終えようとしています。東日本大震災から5年目の被災地の悲しみや復興への課題を抱えながら、熊本、鳥取、再度福島を中心に地震が起きました。世界に目をむければ、テロにより無差別に貴い命が奪われ続けています。そのことに対してどこか他人事として麻痺してしまう私たちの心。日常に精一杯で、身近な問題で精一杯で、それが私たちの正直な状況かもしれません。そのことに罪悪感を抱き、自分を嘆き、傷つく、それもまた私たちの一面です。しかし、そのような弱い心の私たちのためにイエス・キリストが降誕されました。2000年以上前の出来事でしたが、聖書から、当時も現代も人々の問題は何も変わらないことが読み取れます。人の暗闇に、私たちの心にキリストがお生まれなされたのです

私ごとであります。3歳の時、伊勢湾台風を経験しました。瓦が飛び、雨水が家中を真っ黒に染め、今にも住む家ごと吹き飛ばされそうな恐怖に私は一晩中泣いていました。電気もガスも水も数日止まり真っ暗な夜、父が一本のろうそくにマッチで火を灯してくれたこと、母が抱きしめてくれたこと、不思議なことですがその明るさ温かさと安堵感が、イエス様に包まれている平安に結びつきます。恐怖と不安をすっぽりと包む愛、それこそが、神様からの贈り物イエス・キリストなのです。

イエス・キリストの降誕の目的は、クリスマスの日から始まり、神様の計画が成就されていくことです。それがイエス様の伝道、十字架での死と復活、昇天、再臨です。

子ども達は神様からの贈り物イエス様を頂いたことを感謝し、贈ることの喜びや、感謝を表すことをねらいとしてプレゼントを作り、思いを温めてきました。クリスマス、お正月、お誕生日など日頃プレゼントされる機会が多い子ども達が、大好きな方に喜んでいただける幸せを経験できる時になりますように。プレゼントを受け取られた時には、子ども達のひたむきな思いに対し、感謝と喜びの言葉、気持ちをプレゼントしてくださいね。

子ども達、保護者の方々と2学期を歩ませていただき、クリスマスをお祝いして終える幸いに感謝します。

各教会でクリスマス礼拝が行われます。是非お近くやお友達の通う教会をお訪ね下さい。

ご家庭での年末年始が神様の愛に満たされた暖かな時間となりますように。 ㊦ 馬渕宣子

年長さんからのプレゼントは



おぼん & カード



クリスマスの話をしたときから、「プレゼント!」「おかあさんに、おとうさんにあげる!!」と意気込んでいた子どもたち。何を作るか、どうやって作るか、真剣な顔で聞いていました。

☆釘打ち

釘を全部で12本打ちました。初めは「あれ?曲がっちゃった~」「なんか違うところから釘が出てきたー!」「難しい」と苦戦の連続でした。間違っって手を打ってしまったり、顔にかなづちが当たってしまったりした子もいました。おぼんの裏を見ると、子ども達の頑張りが分かって頂けると思います。でも1回目の釘打ち8本を経験すると、2回目の4本は「あっ、こっちの方は簡単~」「できた!」と、トントン、トントンかなづちの扱い方が上手になっていました。その後のあつまりの中で釘打ちをしてみてどうだったか聞いてみると、「難しかったけど、楽しかった」「指をけがしたけど、最後まで頑張った」と、子ども達から嬉しい言葉がたくさん出ました。



☆やすりがけ

釘打ちの後、やすりをかけました。おぼんが大きいので、やすりをかける面もたくさんあり、時間がかかるはずなのですが、「できたよ~」と数分しか経っていないのに、笑顔で保育者に見せにくる年長さん。「ここはどう?」とやすりがかかっている場所を触ってもらい、その場所に保育者がやすりをかけもう一度触ってもらうと、「すべすべ~」と気づき、その後は丁寧に丁寧に時間をかけてやすりをかけることができました。「触っても痛くないようにだよ」とおうちの方を思いながら、やすりをかけている姿に、子ども達のおうちの人に対する優しさがたくさん伝わってきましたよ。

☆カード書き

「メリークリスマス」や「クリスマスおめでとう」の言葉を書きました。文字の苦手な子どももいましたが、保育者のお手本を見たり、友だちに教えてもらったり、一生懸命書いていました。絵はさすが年長さん!クリスマスだから...と発想豊かに描き進めていました。なかには馬小屋の絵を描いた子ども♪

今回は「おぼん」だけではなく、「おてつだい」とセットでのプレゼントです。お食事やおやつにこのおぼんを使ってお手伝いをしてね!と子どもたちと話をしました。“子ども作”のおぼんですので重いものは...苦手。お茶碗やコップの片付けは...得意!?どんなお手伝いができるか、子どもたちと一緒に考えながら使ってみてください(*^^*)

年中さんからのプレゼントは・・・ポスト & カードです！

木工の経験を重ねてきた子ども達、今回は立体製作に挑戦しました。

はじめに2枚の板材と3本の棒材にヤスリをかけていきます。このヤスリがけはテラスに座って、べちゃくちゃとおしゃべりも楽しみました。「角を丸くするんだよね」「スベスベにするんでしょ」と指先で角が丸くなったかを確認したり、頬に素材をスリスリしながらでき具合を確かめたり、ヤスリがけはお手の物のようです。

次はこれらの素材をどう組み合わせたら箱になるのかを考えてみました。まずは積み木のように組み合わせ、隙間なく組み合わせてあるか、板材から棒材がはみ出していないかを自分の手や目で確かめてからボンドをつけていきました。実はこのボンドつけが案外難しかったようで、ボンドの量や木と木を付けるときの力加減で歪んでくっつけてしまう子ども達が何人かいました。

さて仕上げは釘打ちです。合計4本の釘を打ちました。今回、初めて釘打ちをした子ども達もいました。カナヅチの持ち方、釘打ちの始めはどうするかを伝えながら、いざ釘を打ってみると・・・!!!思っていたより、すうーと釘が入っていく！と驚いた子ども達、ところが暫くすると「できない」「入っていかない」と声があがりました。打ち始めよりも終わりの方が難しかったようです。♪カナヅチ、トントン♪と歌いながら、根気よくカナヅチを打ち続けていました。1本→2本→3本と打っていくうちに「なんか上手になってきた」と実感するような独り言が。少し歪んでいたりと、釘を何回か打ち直した跡も作品の味としてお楽しみください。

運動会の看板作りでスタンプを楽しんだ子ども達とステンシルでカード作りをしてみました。星・ブーツ・ツリーの型紙を置き、その上にスタンプでトントン…型紙を取ると「わぁーキレイ♡」どの子も丁寧にスタンプをしていました。


「スタンプは楽しいなあ〜」とカード作りをしながらこんな言葉が出ることもありました。

このステンシルは絵の具の量やスタンピングする場所、力加減も適度にしないと型紙がずれてしまったり、滲んだり、上手くいきません。この秋から何回もスタンプ遊びをしてきた子ども達は、そうしたポイントが少しずつ分かってきたようです。

このカードは葉書として使うことができます。大切な人にクリスマスカードを送るのも良いですね。



今回、プレゼント作りをしていく中で、子ども達から嬉しい言葉がたくさん出てきました。その言葉一つひとつに詰まっている“大きくなったよ”“こんな事もできるようになったよ”という思いもプレゼントと一緒に贈ります。

(まさえ )

年少さんからのプレゼントは だんごのクリスマスツリーです！



神さまから私たちへの最高のプレゼントは、イエスさま。私たちも大切な人に心をこめてプレゼントを贈りたいね！と子どもたちと話し、誰に贈りたいかな？と聞くと

「お母さん！！」「私はお父さん！」と答えてくれました。

団子作りがとても上手な年少さん。その経験を生かしたプレゼントはないかと考え、紙粘土で団子のツリーを作ることにしました！

色の付いた紙粘土を見て、大喜びの子どもたち！上手に丸めた後は、ビーズを飾りました。ビーズの個数を決めみんなで作れるよう話したら、しっかり数を数え付ける子、なかにはキラキラビーズに心奪われ沢山付けた子もいました（笑）

キレイに
並べたり
...



1点集中
したり..

普段製作が苦手な子も、今回の作業は気に入ったみたいで鼻歌を歌いながらニコニコ笑顔で作っていました。団子が重なって、ツリーが出来上がってくるとどの子も嬉しそうな笑顔を見せていました。次々と仕上がって置かれていくツリーから離れられず『じーっ』と見つめていた子もいました。

最後は、お散歩の時拾ったどんぐり・木の実を土台に飾りました。私たちの想像以上に子どもたちは構成を考え、どんぐり帽子だけで飾る子・小枝をツリーに立て掛ける子・土台に沿って丸く飾る子など個性が出て面白い形になりました！！



クリスマスカードは○△□を使って、ツリーに描きに挑戦しました。△が中々描けず、「かけないよ〜」と困ってしまう子が続出。それでも教えてもらいながら頑張って描きました！○△□を使うと、色々な絵が描けるようになるという新しい経験ができたカード作りでした。



子ども達もお気に入りのクリスマスツリー♡是非おうちに飾って、家族で喜びに満ちたクリスマスをお迎えください☆